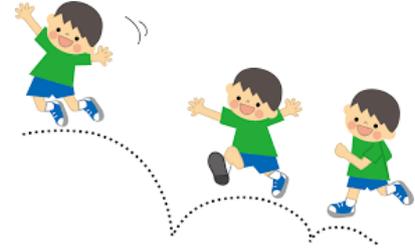


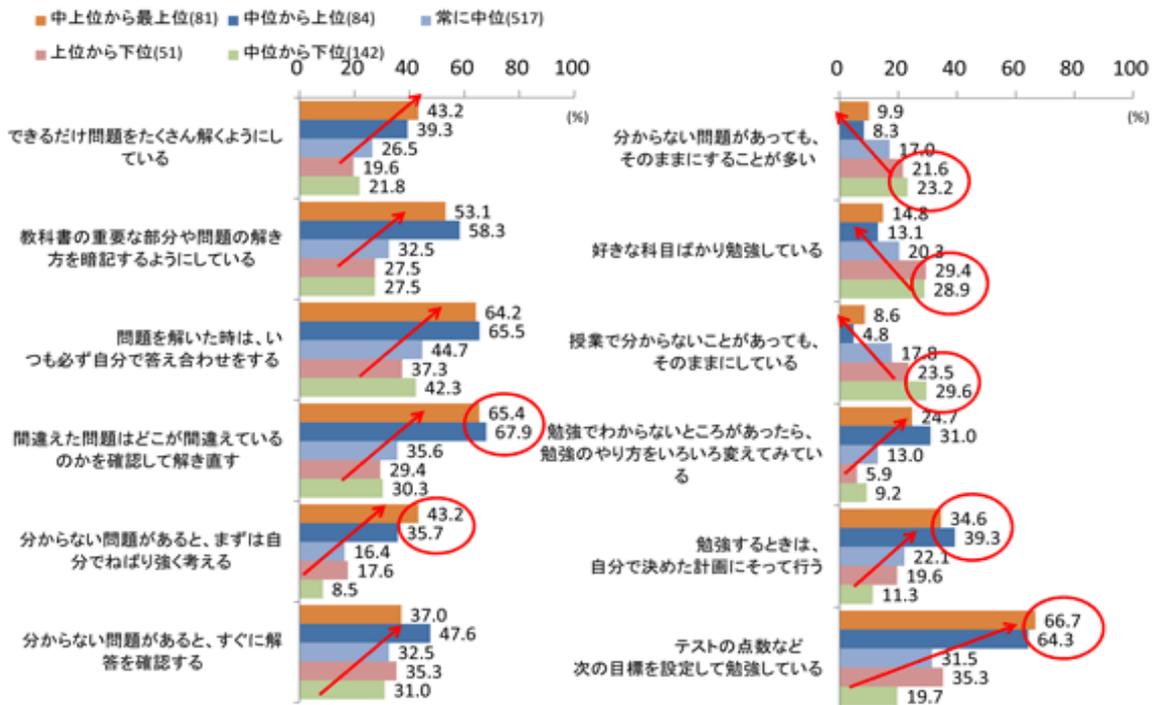
HOP STEP JUMP



自分に合う勉強方法を見つける

先週、三者懇談が実施されましたが、「真面目に授業に取り組んでいるのに、どうして成績が上がらないのだろう」「今の勉強の仕方では成績が上がらないが、どういう勉強をしたら良いのだろう」など、学習に関する悩みが話題になった人もいます。一人一人、性格が違うように、世の中には様々な勉強の仕方があります。その中から、自分に合った勉強方法で、諦めずに粘り強く取り組んでいくことが大切です。そのためには、どんな勉強の仕方があるのかを知ることも必要になります。

「中学校1年生の成績変化と学習方法の関係」を調査した研究所があります。その結果は下記の通りです。



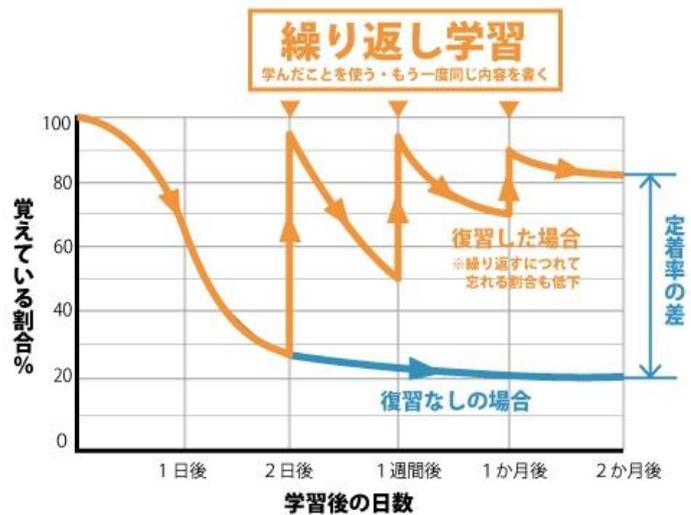
※ ベネッセ教育総合研究所『中学1年生の学習と生活に関する調査』(2012年)

この結果から、成績が上位へと伸びた生徒の勉強方法に特徴があることが分かります。成績が伸びる生徒は、単にたくさん問題を解き、答え合わせをするだけにとどまっていません。例えば、分からない問題について、まずは自分で粘り強く考えています。また、間違えたところは、その理由を考えながら解き直し、自分で次のテストの目標を立て計画

的に学習していることが分かります。さらに、学力を確実に伸ばすため、自分でチェックをしながら進める「自己管理型」の勉強方法を身に付けています。その一方、学力が伸び悩む生徒は、好きな教科ばかり勉強したり、分からないところをそのままにしたりする傾向があります。これらのことから、学力が伸びる生徒と伸び悩む生徒では「学び方の差」は歴然としています。また、効果的な学び方を身に付けることが、学力向上には必要なことが分かります。

また、ハーバード大学のピーター・ブラウンさんの研究で「勉強法の科学」という著書があります。その本の中に、「何度も同じ内容を繰り返し勉強することも大切だが、学んだことを数時間後や数日後にもう一度復習を繰り返すことで、より知識の定着率が高まった」という研究結果が書かれています。

この二つの調査結果を参考にして、様々な勉強方法の中から、「この方法で勉強してみよう」と思うものから取り組んでみて、自分に合う勉強方法を見つけていきましょう。



3年生へのアドバイス⑥

県立高等学校への入試を控えている3年生は、あれやこれやと新しいものに手を出さず、今まで学習したことを丁寧に復習していくことが大切です。県立高等学校入試の大前提として挙げられることは、「学校の教科書を超えた知識は出題されない。」ということです。特に、「社会と理科」の教科書はかなり分かりやすくまとまっているので、知識不足を感じたら、教科書やワークブックのまとめのページを熟読して補いましょう。

また、入試の出題傾向に合わせた過去の問題を利用している人も多いと思いますが、その際には必ず時間を計りながら解くことが大切です。もちろん解き終わったら、すぐに答えあわせをして点数を出し、間違えたところをすぐにやり直しましょう。大切なことは、この「やり直し」です。答えあわせは「間違い発見」のため、やり直しは「間違い修正」のためのものです。「やり直し」をすることで、勘違いしていたものを正し、足りなかった



知識を補い、自分のミスの傾向(計算間違いが多いとか問題の読み間違いが多いとか)をつかむことができます。入試では、記述などの難しい問題よりも計算や漢字などの「基本問題」の方が点数の差が生まれやすいのです。簡単な問題こそ気を抜かず、確実に点数に結び付けましょう。